

テーマ 女性の登用（活躍）による事業・活動の展開

地域のためにみんなで仕事を作り、みんなで働く労協船橋

企業組合労協船橋事業団

訪問介護や高齢者施設の食堂運営等を事業とする当組合は女性が活躍できる職場であるが、特に高い技能と意識を持った2人のリーダーの活躍を紹介する。

背景と目的

企業組合労協船橋事業団は昭和62年3月に設立された市民による地域社会事業を行うワーカーズコープちば（任意団体）を基盤としている。平成14年7月に介護事業（訪問介護等）を開始するに当たり、法人化が求められたため、働く人が組合員となり出資し、働き、経営する組合として企業組合を設立した。主要事業の一つ「ヘルパーステーションゆりの木」は地域住民の高齢化に伴い地域住民から介護事業の要請が大きかったこと等から事業を始めることとなった。2つ目の事業「ワーカーズコープ四季彩」は高齢者施設「高

根台のつどいの家」の中にある食堂において施設からの要請により、平成21年施設開設時から食堂運営等を行っている。

事業・活動の内容

介護福祉士で責任者・名久井はる江氏が働いている「ヘルパーステーションゆりの木」は訪問介護事業、障害者総合支援事業（以上は「介護保険適用」）のほかには介護保険適用外のサービスを行っている。地域のケアマネージャーとは綿密な連携を取ることに高い信頼関係を築いている。

調理師で責任者の本江れい子氏が働く「ワーカーズコープ四季彩」では、高齢者施設「高根台つどいの家」の食堂運営事業及び弁当の製作・販売事業等を行っている。オーナーとなる高齢者施設の運営団体株式会社生活科学運営等とは連携会議を持ちメニューの変更やイベントの企画等を提案している。

全ての職場では毎月1日、職員全員による「職場会議」を開催して話し合いを行っている。責任者は意見や希望を取りまとめ、必要な場合は理事会にあげて審議している。

成果・効果

「ヘルパーステーションゆりの木」はお客様との高い信頼関係を築いており、依頼される仕事は増加しており経営への寄与度は大きい（売上高は平成26年度に関して、前年比119%）。

「ワーカーズコープ四季彩」の事業のうち高齢者施設の食堂運営は比較的安定しており、弁当製作・販売その他の事業は今後も伸びることが期待される。

また、2人の責任者の介護調理に関する技能やノウハウのレベルも高いので、「あのレベルまで到達したい」という組合員も多く、目指すべき目標となっている。



▲ヘルパーステーションゆりの木でのヘルパー実技研修



▲ワーカーズコープ四季彩での「安心な地元野菜の手作り弁当」製作

企業組合労協船橋事業団

住所：〒274-0065
千葉県船橋市高根台6-2-20
設立：平成14年7月
出資金：10,850千円
電話：047-467-4920
URL：http://jigyodan.com
業種：介護、給食・配食業、教育サービス、放課後デイサービス、フードバンク等
組合員：53人
組合専従者：53人（うち理事7人）